

本件は、中電記者クラブ（広島）、エネルギー記者会（東京）で発表しています。

## 報道資料

平成28年4月4日  
大崎クールジェン株式会社  
中国電力株式会社  
電源開発株式会社

### CO<sub>2</sub>分離・回収型IGCC実証事業の着手について

大崎クールジェン株式会社（本社：広島県豊田郡大崎上島町、中国電力株式会社と電源開発株式会社の共同出資）は、石炭ガス化複合発電（IGCC<sup>※1</sup>）とCO<sub>2</sub>分離・回収を組み合わせた実証試験を行い、革新的な低炭素石炭火力発電の実現を目指す「大崎クールジェンプロジェクト」を進めています。

（平成21年7月29日、平成25年3月1日お知らせ済み）

同社は、4月1日に、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の助成事業である「次世代火力発電等技術開発／石炭ガス化燃料電池複合発電実証事業／CO<sub>2</sub>分離・回収型酸素吹IGCC実証」の実施事業者に採択され、同日から、「CO<sub>2</sub>分離・回収型IGCC実証事業（以下、「本事業」）」（平成28年度～32年度）に着手しました。

「大崎クールジェンプロジェクト」は、酸素吹IGCC実証（第1段階）、CO<sub>2</sub>分離・回収型酸素吹IGCC実証（第2段階）、CO<sub>2</sub>分離・回収型IGFC<sup>※2</sup>実証（第3段階）から構成されます。

第2段階となる本事業では、将来的な実用化を目指して、酸素吹IGCC実証試験設備にCO<sub>2</sub>分離・回収設備を付設し、CO<sub>2</sub>分離・回収型石炭火力発電システムとしての性能、運用性、信頼性及び経済性に係る実証を行います。

本事業で確立したCO<sub>2</sub>分離・回収型酸素吹IGCCの成果は、本事業とは別に進められているCO<sub>2</sub>輸送・貯留技術の開発成果と組み合わせることで、石炭火力発電から排出されるCO<sub>2</sub>の大幅削減が期待されます。

今後、平成31年度中の開始を目指す実証試験に向けて、着実に事業を進めるとともに、「大崎クールジェンプロジェクト」の目標達成に取り組んでまいります。

※1 石炭ガス化複合発電（Integrated Coal Gasification Combined Cycle）

※2 石炭ガス化燃料電池複合発電（Integrated Coal Gasification Fuel Cell Combined Cycle）

以上

#### 【お問い合わせ先】

大崎クールジェン株式会社	総務企画部	総務G	TEL：0846-67-5250
中国電力株式会社	広報部門（報道グループ）		TEL：082-544-2846
電源開発株式会社	秘書広報部	広報室	TEL：03-3546-2211

《実証試験設備配置図》

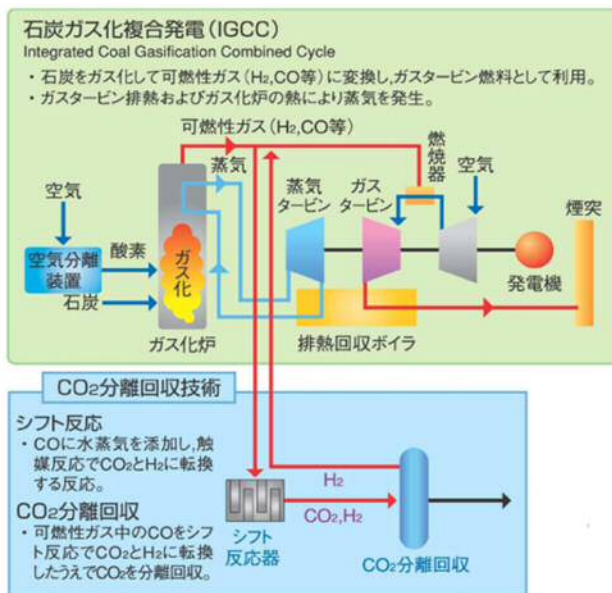


※本実証事業は、中国電力株式会社大崎発電所構内で実施しています。

《石炭ガス化燃料電池複合発電実証事業 主要スケジュール》

年度	平成24年度 (2012年度)	平成25年度 (2013年度)	平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	平成33年度 (2021年度)
第1段階 酸素吹IGCC 実証	酸素吹IGCC詳細設計・建設						実証試験			
							△平成29年3月 実証試験開始			
第2段階 CO <sub>2</sub> 分離・回収型 IGCC実証					CO <sub>2</sub> 分離・回収詳細設計・建設		実証試験			
第3段階 CO <sub>2</sub> 分離・回収型 IGFC実証							CO <sub>2</sub> 分離・回収型IGFC 詳細設計・建設		実証試験	

《本実証試験システムの概要》



(参考) CO<sub>2</sub>分離回収設備イメージ



電源開発若松研究所の物理吸収法実証試験プラント  
(出典: 電源開発)  
※本事業は若松研究所での試験成果を反映



《 I G C C 実証試験発電所 建設状況》

